

## ■建築家からのメッセージ■

1.白鶲幼稚園おもちゃライ  
ブラー（栃木県建築景観賞）  
2.建て主作成のコラ  
ージュで理想の家を話し合  
う3.和の要素を現代建築に  
活かした家4.海外でのワ  
ークショップ活動（トルコ  
2005）、5.まちづくり活動  
(生田緑地市民参加、座長)  
6.ルーテル学院大学新校舎  
(2006年日本建築家協会優  
秀建築選) 7.スキップフ  
ロアを用いて空間に連続性  
を持たせた家



連 健夫  
Takeo Muraji

多摩美術大学卒業、東京大学大学院修了。建設会社10年勤務後、1991年渡英、AAスクール留学、AA大学院優等位取得の後、同校助手、東ロンドン建築講師、在英日本大使館嘱託。1996年帰国、連健夫建築研究室設立。設計活動の傍ら首都大学東京オープンユニバーシティ等で講師を務める。作品「白鶲幼稚園おもちゃライブラー」で栃木県建築景観賞、子ども環境学会デザイン奨励賞受賞。著書に「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」など



**家づくりで大切にしていること**

建てる主との「コミュニケーション」を大切にしています。建築は大きさや間取など建てる主からの基本的要望で設計可能なですが、癒され元気になる家づくりのためには十分な「コミュニケーション」が必要です。

このため設計各段階において綿密な打ち合せを行うなど建てる主参加のデザインプロセスに留意しています。

設計当初に建てる主のイメージや嗜好をデザインに活かすべく、10の連想や「受け付けていますか？」、「遠隔地からの依頼もあります。」、「遠隔地からのお問い合わせは？」、「受け付けていますか？」、「遠隔地からの設計依頼はどちら問題ありません。」、「設計料に交通費が附加されますが、まちづくり活動や講演会な

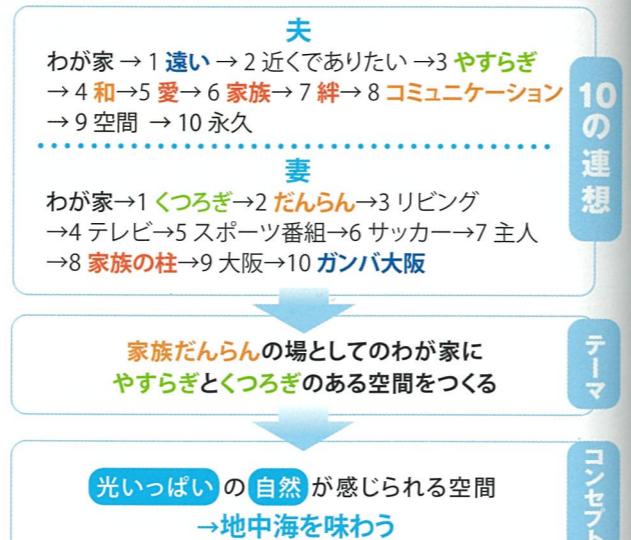
どの機会をうまく使い費用を最小限にしています。遠隔地の家づくりは地域文化や気候特性を生かすなど、当方にとって魅力を感じます。

**いま興味のあることは何ですか？**

世相や「コミュニケーション」に興味があります。時代の読み取りは住まいの将来のあり方を考え上で大切です。

多世代の方と話をすることや「ログヤツツィッター」などの情報ツールを使うなど、「コミュニケーション」を心がけています。

計することは、家族の様子が見える感じになります。家族がつながる場です。リビングやダイニングを気持ちの良い場として設



### DATA

改修面積: 72.47m<sup>2</sup> (内部: 55.22m<sup>2</sup>, 外部: 17.25m<sup>2</sup>)  
規模: 戸建住宅 (木造+RC造) 3階建の1階部分の改修  
工期: 設計2ヶ月／工事2ヶ月  
完工: 2008年6月  
設計／有限会社 連健夫建築研究室・一級建築士事務所  
〒107-0052 東京都港区赤坂4-11 ドミエメロード3C  
電話: 03-5549-9887 FAX: 03-5549-9889  
ホームページ: http://www.muraji.jp/  
E-mail: takeo@muraji.jp  
施工／有限会社 水品建工  
〒333-0865 埼玉県川口市伊刈1003-6  
電話: 048-263-2525 FAX: 048-263-2533  
本体施工費: 1,350万円

